

桐朋学園音楽部門報2013 vol. 46

NEWSLETTER OF TOHO GAKUEN SCHOOL OF MUSIC

発行：学校法人桐朋学園 音楽部門 ホームページ <http://www.tohomucis.ac.jp> 発行日：2013年7月10日 編集：総務部広報課

仙川キャンパス：桐朋学園大学／桐朋女子高等学校音楽科（男女共学）／桐朋学園大学音楽学部附属子供のための音楽教室
〒182-8510 東京都調布市若葉町1-41-1 TEL.03-3307-4101（代表） FAX.03-3307-4354

富山キャンパス：桐朋学園大学院大学／桐朋学園大学院大学・桐朋学園大学音楽学部附属桐朋オーケストラ・アカデミー
〒930-0138 富山県富山市呉羽町1884-17 TEL.076-434-6800（代表） FAX.076-434-6666

新しい価値の創造



桐朋学園大学学長
梅津 時比古

光と影が微妙なあわいを醸しだすでしょう。2014年春に完成する調布キャンパス1号館の設計図を見ていて、そのあわいを歩く大学生の姿が思い浮かびました。素晴らしいデザインの新しいキャンパスです。

今年度から「桐朋校舎建築ヴィジョン」を実行して参ります。調布キャンパス1号館には来年夏、大学が引っ越しを行う予定です。以後、現在の地、仙川キャンパスの旧館・新館の順次取り壊しと仙川キャンパス新校舎の建設に向けた新計画を始める予定を立てています。仙川キャンパス新校舎は、未来の長期にわたって教育・研究を全面的に支えるために、高校、大学が一体となった桐朋の教育理念を体現する校舎を予定しています。仙川キャンパス新校舎の完成後、調布キャンパス1号館は、さらに研鑽を積める、余裕を持った音楽の場になるでしょう。

新しい校舎と理念において、斎藤秀雄先生以来の素晴らしい伝統を読み直して私たちにとっての新しい価値を創出する〈来たるべき音〉のために、多くの方々のご協力を心からお願い申し上げます。

所感



桐朋学園大学副学長
辰巳 明子

残暑まだ厳しい昨年の8月末、アネックス「桐朋ストリングス・セミナー」のできごと。その日のレッスンを終え、講師陣が寛いでいた時、ピエール・アモイヤル氏が、何気なく口にされた。「今日は、これから、本校の校舎を見に行くよ。建て直したら、僕はあの伝説の学校を見られないからね…」私は瞬時に、斎藤秀雄先生とのオーケストラ練習風景、メニューイン、アイザック・スターンらをお迎えした333・402教室など、過去の桐朋生活がよみがえり、押し寄せてきて、言葉が続かなかった。

まだ創立60年の桐朋だが、我々にとっては、かけがえのない日々の、ぎっしりと積み重なった重い歴史だ。あまりにも素晴らしい創立者の恩師と先輩達のおかげで、名門に生まれた二代目のような感覚を引きずってはいるが、この桐朋の魅力を次につなげたいと切に思う。

社会も大学も、個人も、守らなければならないもの、変えてゆかねばならぬ事を、刻々と問われ続けるのだが、この4月より梅津時比古学長をお迎えし、また新しい出発をした。私も誠に微力ながら、梅津学長のお手伝いを、全力でさせていただくつもりです。よろしくお願い申し上げます。

翌日のアモイヤル氏の感想は「廊下でも熱心に練習する学生がいて、音が溢れ、活気にみち、親しみやすいとても素敵な学校だ。」との事でした。

理事に就任して



理事
玉置 善己

今年度より、理事を務めさせていただきます。理事としての仕事とは一体何なのだろうか？自分に何ができるのだろうか？という思いのまま、早くも三ヶ月が過ぎてしまいました。

私は、これまでもいくつかの役職を経験してきましたが、理事を務めることにより、違う角度から様々な面を見ていくことになりました。教員の年齢構成のひずみや、事務局体制のことなど、先を見据えて考えていかなくてはならないことがたくさんあることに気づかされました。

調布1号館（旧調布寮跡地）が今年度末には完成します。今年は新しい校舎への引っ越しを含め、期待と夢をふくらませながらもいろいろな準備をしていく忙しい年になりそうです。若い子たちの中には学校をハード部分で決めてしまう人達もいるようで、このような世の中で、早く桐朋の新しい姿を見せなくてはと思っています。

平成24年度の決算については、5月の理事会でも承認され、監査でも特に問題は指摘されておりませんので、ここに報告しておきたいと思います。

大変微力ではありますが、頑張っってやっていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

勤続32年



学部長
大島 幾雄

ちょうど33年前のミラノ留学中に、恩師萩谷納先生より帰国命令？の手紙を頂きました。母校の専任教員をやらないか？と言うことでした。お返事をためらってしばらくそのままおりました。しばらくしてお怒りのお手紙。慌てて、帰国してお伺いいたします、と。

それから32年間、声楽家との二足のわらじを履き続け、この度学部長という大役を仰せつかりました。

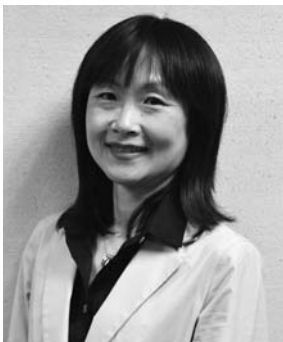
桐朋学園大学の教育は、どの部会においても大変に素晴らしいと実感しております。手を抜かない行き届いた音楽教育です。本校に入学された学生は本当に幸運です。普段は論争相手の教員の皆様も、ある種自虐的とも言える一流音楽家の持つ情熱を感じます。私は、そういう同僚を非常に尊敬しております。

そんな恵まれた組織の中で私の果たすべきものは何でありましょうか？それは、在学している学生さんたちに、桐朋に入学して良かったと思っていただくように、理念だけでなく現場を直視して学生の要望、時代の要望に即して行動することだと思っています。

さらに言うならば、在学中だけでなく、むしろ後々になって桐朋の教育は良かったと思っていただけますように、そこに組み込んでゆく事だと思っています。

貴重な時間をつかさどる音楽芸術に、教員一同と共に尽くしてまいりたいと思っております。

一人ひとりの思いを形に



教務部長
姫野 雅子

一人ひとりが持っている夢、それを実現するためのお手伝いをすること、これが学校の大事な役目の一つだと考えています。そのためには、学生生徒の声に耳を傾け、何を望んでいるのか知ることが必要でしょう。

「自由」を教育の柱としている桐朋では、先生方は指導の場でさまざまな創意工夫を行っています。そこで、現在大学生の声聞く場として、各種アンケートや履修相談の場を設けていますが、それを充実させ、学生の声を丁寧に拾い上げます。そして、指導の場で行われている創意工夫の中から良いものを取り上げ、一人ひとりの問題解決の糸口として、または将来へ向けた積極的な活動への支援として、より多くの学生が活用できるよう形を整えていくことに全力を注ぎたいと考えています。これから調布の新校舎完成をスタートに、仙川でも新たな教育の場が出来上がっていきます。新しい環境での生活が充実したものになるよう、学生生徒の視線から学校を変えていきたいと思っています。

桐朋らしさを大切に



学生部長
齋木 隆

演奏することは、自分の言葉を発信することに似ていて、そこには受け止めてくれる人とのコミュニケーションが不可欠です。豊かで自由な発想は、受け入れられることで説得力を持ち、深く、広く、人々の心に届きます。

桐朋の卒業生として誇れることがあるとすれば、桐朋には昔から先輩、後輩、教師、学生を問わず、隔たりのないコミュニケーションがあり、お互いに刺激し合える場があったということです。抑圧されずやりたいことができる環境が個性を育て、音楽家としての感性を磨く手助けとなり、多くの輝かしい演奏家が巣立っていきました。彼らは発信をし続け、次々と音楽界に新しい風を吹かせています。

この桐朋らしい自由な校風を何よりも大切に、より良い環境、学生が気持ちよく羽ばたける場を提供し続けていきたいと思っております。また万一に備えるべく安全対策をしっかりと、今年は全学的な避難訓練なども行っていきたいと考えています。

学生部長として何が必要かを考えながら、学生達の日々新しい活動をサポートし、より活気に満ちた桐朋にするべく、力を尽くしたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

未来への貯蔵庫



図書館長
沼野 雄司

大学という組織の中で、もっとも永い生命を保つものは何でしょうか？学生は数年で入れ替わり、教職員も一定の期間を経ると全く異なった顔ぶれになります。校舎さえも——とりわけ日本では——五十年もたてば老朽化してしまふ。しかし図書館の蔵書は半永久的に保存されて、その組織の性格をはっきりと示し続けるのです。

正直なところ、本学に着任した際、図書館の貧弱な設備には少々落胆しました。短大の四階という場所に位置し、お世辞にも広いとはいえない。しかし利用すればするほど、その蔵書の量と質、そしてきめ細かい整理に感嘆し、この図書館を支えてきた方々に畏敬の念を感じるようになりました。単に館長としての身びいきではなく、一人の音楽学者として自信を持って言いますが、とりわけ本学の楽譜蔵書は日本では群を抜いた質を誇るものです。

本学の学生が自分の頭で考え、真に学ぼうとするとき、おそらく誰もがこの「質」にあらためて気づくことなのでしょう。しかも来年の夏に開館する調布2号館では、開架図書も充実し、さらに利用しやすい環境が整います。私の役割は、この素晴らしい図書館をはるかな未来を見据えて維持する、この一点に尽きると考えています。

高校の存在感



高校部長
合田 香

音楽部門の高校、「桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)」は子どものための音楽教室で学んだ人たちが高校の学齢に達した時に、先人たちの大変な努力により桐朋女子高等学校に普通科と併設する形でスタートしました。そしてその人達が高校を卒業する時に次の段階(当時は短大)へと展開していきました。

桐朋音楽部門の高校は、この成り立ちからもわかるように、大学の付属として後から設置されたのではなく、大学を生み出す「もと」となった存在です。

そして現在も、音楽教室→高校→大学という音楽部門の教育体系の中で正に中核であり、音楽教室の教育の「先に」位置し、それは大学の教育へ結びつき繋がっていきます。

桐朋音楽部門の大切な要である高校は、音楽界において欠かせない存在でありませぬ。

桐朋の大学を経て、または海外の音楽学校を経て、たくさんの音楽家が国内外へ輩出され、在学中の生徒を含めて多くの人々が活躍しています。「桐朋音楽部門の高校」、その役割や可能性を音楽部門の全教員で共有し、卒業生や保護者とも共有しながら、その存在感を一層高めていきたいと考えています。私たちの地道な努力は国内外の音楽界の発展に直結し、大きく期待されていると感じています。

音楽教室とは



音楽教室部長
村上 弦一郎

この度、当職を拝命し、設立60年周年を超える伝統をもつ「桐朋学園大学附属子供のための音楽教室」とはなにか、私なりに考えてみました。

設立当初からの、一般には考えられないような、創始者斎藤、井口両先生はもちろんの事、例えば、吉田秀和氏、柴田南雄氏等各ジャンルの大家が、手を携えて直接行ってきた早期教育。このことは今も大・高教員による桐朋学園に直接結び付いた質の高い音楽教育として引き継がれています。この高い水準の教育を背景に行われる、面白く、興味をもって楽しむうちに音楽を好きになる、ということを中心に構えた広範な音楽普及活動。音楽教室講師それぞれの得意とする持ち分を活かした、特色溢れるクラス運営。全国各地の教室で繰り広げられる多様で先進的な授業を、音教アカデミー研修会、あるいは課題集等の形で各教室にフィードバック。これらを含めた音楽教育の大きなうねりを、起こし続ける活力、粘り強さ、等々。

人類の歴史的宝物である《音楽》そして《教育》を創造する喜びを語り合い、共感し合える素晴らしい教育現場を引き続き発展させていけるよう、及ばずながら出来る限りを尽くします。

皆様のご教示を拝したい所存でございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

教授と学生の共演



大学院大学研究科長
藤原 浜雄

本年度の大学院の入学志願応募者数は残念ながら例年に比べ大幅な減少となり12名でした。定員割れだけは免れたものの、二次募集を掛けざるを得なかった2004年度入学生に次ぐ状況でした。大きく影響したのが、弦楽器の応募が桐朋出身生のヴァイオリン一人しかいなかったことと、桐朋以外の大学出身生の応募がピアノの一人しかいなかったことです。桐朋出身のピアノの応募者は10名おりましたので我々が仙川から見放されたわけではないと、少しは安堵致しましたが、今後にとって大きな課題となりました。特にここ数年、弦楽器はともかくピアノの応募は比較的まとまった数がありましたので、非常な驚きでした。

上記の結果、本年度の入学者数はピアノ9名、ヴァイオリン1名の計10名です。出身別では神戸女学院からのピアノ1名以外は全員桐朋です。本年3月にチェロ2名が卒業してしまったため、昨年入学の2年生と合わせ、在籍生数はピアノ18、ヴァイオリン3の21名となりました。室内楽を組むには、かつて無いアンバランスですが、チェロの銅銀先生、ヴァイオリンの私が学生達と一緒に演奏することで、授業は成立しており、学生達は非常に喜んでおります。

広く当大学院のことを知って貰おうという趣旨で、本年度は東京と大阪で学校説明会として専任教授陣によるファカルティー・コンサート、ミニ講座を企画しております。

オーケストラ・アカデミー報告



オーケストラ・アカデミー所長
田宮 堅二

平成25年度は、新入生25名（研修生23名、教育課程生2名）に加えて今年度も弦楽器部会からの推薦で、仙川研究生が3名参加しています。従って、総数は新入生28名、前年度からの継続生38名、合わせて66名となりました。

今年度は、6月と10月に特別演奏会を、4月と11月に定期演奏会を企画しました。6月の特別演奏会には昨年同様にベルリン・フィルのメンバーを、秋にはベルリン・ドイツ・オペラ管弦楽団のメンバーを富山に招き、指揮者は、6月にデリック・イノウエ氏（メトロポリタン歌劇場専属）を、10月にはアイラ・レヴィン氏（ブラジル国立歌劇場音楽監督）を招聘して開催します。

4月の定期演奏会には、服部譲二氏を中心に、山崎伸子氏、吉村知子氏、坂口弦太郎氏、小室昌広氏、管楽器に古部賢一氏、ソリストにモンテリオール国際コンクール優勝のN.アルガマニアンさんを招き、ベートーヴェンの『皇帝』とチャイコフスキーの『悲愴』を演奏いたしました。5月には、大学院大学のコンチェルト実習、10月には大学院大学生による『協奏曲の夕べ』を円光寺雅彦氏の指揮で行われます。11月には小泉和裕先生をお迎えして、今年度最後の定期演奏会をお願いしています。

友の会の会員数が1280名を超え、多くの富山市民にオーケストラ・アカデミーが認知されてきました。昨年度は、オーケストラに3名就職しました。そのほか芸術系高校の専任教員など2名の就職が決まっています。

平成24年度 音楽部門決算の概要

平成24年度の資金収入は、①学生生徒等納付金収入が高校・科目等履修生の在籍数が減少したことが主な要因となり26,251千円の減、②補助金収入が大学国庫補助金及び富山市運営費補助金減が主な要因となり20,760千円の減、③その他の収入が調布キャンパス建築に伴う施設設備引当特定資産からの繰入収入が主な要因となり887,546千円の増、合計前年度対比840,534千円の増加となった。資金支出は、①人件費支出が専任教職員の人数減が主な要因となり61,711千円の減、②教育研究経費支出が平成23年度実施した富山キャンパス冷暖房機器の修繕費支出及び仙川キャンパス地方演奏会実験実習費支出減が主な要因となり27,568千円の減、③管理経費支出が調布寮解体に伴う資産除去費支出が主な要因となり86,398千円の増、④その他の支出が調布キャンパス建築に伴う建物支出等が主な要因となり728,604千円の増、合計前年度対比725,723千円の増加となった。次年度繰越支払資金は【表1】のとおり、前年度対比136,062千円の減少(12.0%)となった。

消費収支においては【表2】のとおり、調布キャンパス建築による基本金組入額が主な要因となり当年度消費収支差額は675,248千円の支出超過となり、収支係数は1.11%となった。

*学校法人会計基準による資金収支計算書、消費収支計算書は【表A】に、貸借対照表は【表B】に、また監査報告書は【表C】に後掲している。

【表1】 資金収支決算対比表

(単位：千円、%)

科目/摘要	平成24年度 A	平成23年度 B	増減A-B	
			金額	増減率
資金収入				
学生生徒等納付金収入	2,855,730	2,881,982	△ 26,251	△ 0.9
補助金収入	391,217	411,977	△ 20,760	△ 5.0
その他の収入	1,045,159	157,613	887,546	563.1
単年度収入合計	4,292,106	3,451,572	840,534	24.4
資金支出				
人件費支出	2,057,691	2,119,402	△ 61,711	△ 2.9
教育研究経費支出	801,836	829,404	△ 27,568	△ 3.3
管理経費支出	197,669	111,270	86,398	77.6
その他の支出	1,370,972	642,368	728,604	113.4
単年度支出合計	4,428,167	3,702,444	725,723	19.6
単年度収支差額	△ 136,062	△ 250,872	114,811	45.8
前年度繰越支払資金	1,133,053	1,383,926	△ 250,872	△ 18.1
次年度繰越支払資金	996,991	1,133,053	△ 136,062	△ 12.0

【表2】 消費収支決算対比表

(単位：千円、%)

科目/摘要	平成24年度 A	平成23年度 B	増減A-B	
			金額	増減率
消費収入				
学生生徒等納付金	2,855,730	2,881,982	△ 26,251	△ 0.9
補助金	391,217	411,977	△ 20,760	△ 5.0
その他	109,071	140,444	△ 31,373	△ 22.3
帰属収入合計①	3,356,018	3,434,403	△ 78,384	△ 2.3
基本金組入額合計(△)	△ 712,382	△ 205,109	△ 507,273	247.3
消費収入の部合計	2,643,636	3,229,293	△ 585,657	△ 18.1
消費支出				
人件費	2,011,743	2,053,521	△ 41,778	△ 2.0
教育研究経費	885,066	922,451	△ 37,385	△ 4.1
管理経費	208,631	140,165	68,466	48.8
その他	213,445	90,576	122,869	135.7
消費支出合計②	3,318,884	3,206,713	112,172	3.5
帰属収支差額(①-②)	37,134	227,690	△ 190,556	△ 83.7
当年度消費収入超過額	△ 675,248	22,581	△ 697,829	△ 3,090.3
前年度繰越消費収入超過額	△ 264,489	△ 287,069	22,581	7.9
基本金取崩額	0	0	0	0.0
翌年度繰越消費収入超過額	△ 939,737	△ 264,489	△ 675,248	△ 255.3

収支係数%(計算式①-②/①×100)	1.11	6.63	△ 5.52	△ 83.3
---------------------	------	------	--------	--------

【表3】 学生生徒数・学生生徒等納付金収入の推移

(単位：人、千円)

区 分	学生生徒数				学生生徒等納付金収入			
	22年度	23年度	24年度	増減	22年度	23年度	24年度	増減
		A	B	B - A		A	B	B - A
大学	741	746	751	5	1,567,984	1,569,371	1,577,163	7,792
大学科目等履修生	239	225	187	△ 38	157,015	156,021	135,252	△ 20,769
高校	242	245	232	△ 13	356,643	356,748	334,368	△ 22,380
音楽教室	2,210	2,195	2,192	△ 3	734,035	738,579	751,029	12,450
仙川キャンパス計	3,432	3,411	3,362	△ 49	2,815,677	2,820,719	2,797,812	△ 22,907
大学院	24	24	23	△ 1	22,800	22,800	21,700	△ 1,100
大学院科目等履修生	0	3	0	△ 3	0	600	0	△ 600
アカデミー	62	59	57	△ 2	40,330	37,863	36,218	△ 1,645
富山キャンパス計	86	86	80	△ 6	63,130	61,263	57,918	△ 3,345
合 計	3,518	3,497	3,442	△ 55	2,878,807	2,881,982	2,855,730	△ 26,251

(注) 学生生徒数は各年度3月31日現在である。

【表4】 補助金収入の推移

(単位：千円)

区 分	22年度	23年度	24年度	増減
		A	B	B - A
大学（国庫補助金）一般補助	95,908	101,790	91,855	△ 9,935
特別補助（授業料減免事業等支援経費）	13,024	12,240	11,960	△ 280
（障害者の入学の推進）	2,147	0	0	0
（科目等履修生）	805	0	0	0
（教育・学習方法等改善支援）	0	0	0	0
（海外研修派遣）	0	800	0	△ 800
（大学教育の質向上への一体的な取組支援）	0	0	0	0
（ICT活用教育研究支援）	7,514	0	0	0
（注）「特別補助」は毎年、区分並びに名称変更がなされている。				
大学（東京都）結核予防補助	64	62	64	2
大学・高校（調布市）保存樹木剪定補助	0	250	0	△ 250
高校（東京都）一般補助	65,788	63,751	60,451	△ 3,300
特別補助	5,873	4,592	6,116	1,524
高校（東京都）結核予防補助	28	26	23	△ 3
都内生就学促進補助	775	725	450	△ 275
東京都私立高等学校等授業料軽減助成金	1,074	1,250	1,477	227
就学支援金学校事務費補助	0	267	264	△ 3
仙川キャンパス計	193,000	185,753	172,660	△ 13,093
大学院（国庫補助金）一般補助	10,757	12,224	12,102	△ 122
（富山市）運営費補助	68,000	76,729	72,018	△ 4,711
施設整備費補助	9,990	14,000	16,800	2,800
アカデミー（富山市）運営費補助	132,000	123,271	117,637	△ 5,634
富山キャンパス計	220,747	226,224	218,557	△ 7,667
合 計	413,747	411,977	391,217	△ 20,760

【表5】財産目録総括表

(単位：千円)

科 目			科 目			
一、基本財産			5,154,769	三、負債額	1,543,009	
1. 土地	13,452㎡	916,069	1. 固定負債	894,098		
2. 建物	17,452㎡	2,010,240	(1) 退職給与引当金	894,098		
3. 図書	246,177冊	817,719	2. 流動負債	648,910		
4. 教具・校具・備品	8,709点	240,391	(1) 前受金	546,672		
5. その他	116点	1,170,350	(2) 未払金	74,283		
二、運用財産			3,803,587	(3) その他	27,955	
1. 預金・現金		996,991	四、基本財産+運用財産		8,958,356	
2. 積立金		2,580,645	五、純財産(四-三)		7,415,347	
3. 有価証券		1,707	純負債比率【総負債(三)-前受金】			
4. その他		224,244	÷総財産(四)×100			11.12%

【表A】平成24年度 決算総括表

(単位：千円)

資金収支計算書

収入の部

科目/摘要	a.平成24年度 決 算	構成比	b.平成24年度 予 算	a. - b.
学生生徒等納付金収入	2,855,730	52.64	2,854,075	1,656
手数料収入	30,469	0.56	30,568	△ 100
寄付金収入	5,007	0.09	0	5,007
補助金収入	391,217	7.21	401,246	△ 10,029
資産運用収入	7,849	0.14	8,701	△ 852
資産売却収入	1,575	0.03	1,575	0
事業収入	△ 13,618	△ 0.25	△ 19,017	5,399
雑収入	71,098	1.31	69,227	1,871
借入金等収入	0	0.00	0	0
前受金収入	546,672	10.08	521,724	24,948
その他の収入	1,137,844	20.97	1,133,944	3,900
資金収入調整勘定(△)	△ 744,103	△ 13.72	△ 741,008	△ 3,095
他部からの繰入金	2,366	0.04	3,300	△ 934
単年度収入合計	4,292,106	79.11	4,264,334	27,771
前年度繰越支払資金	1,133,053	20.89	1,133,053	0
合 計	5,425,159	100.00	5,397,387	27,771

支出の部

科目/摘要	a.平成24年度 決 算	構成比	b.平成24年度 予 算	a. - b.
人件費支出	2,057,691	37.93	2,061,021	△ 3,330
教育研究経費支出	801,836	14.78	840,960	△ 39,123
管理経費支出	197,669	3.64	203,819	△ 6,150
借入金等利息支出	0	0.00	0	0
借入金等返済支出	0	0.00	0	0
施設関係支出	1,204,529	22.20	1,206,375	△ 1,846
設備関係支出	48,512	0.89	53,415	△ 4,903
資産運用支出	9,285	0.17	4,254	5,031
その他の支出	113,074	2.08	116,352	△ 3,278
[予備費]	0	0.00	15,100	△ 15,100
資金支出調整勘定(△)	△ 89,941	△ 1.66	△ 91,783	1,842
他部への繰出金	85,513	1.58	85,668	△ 155
単年度支出合計	4,428,167	81.62	4,495,181	△ 67,014
単年度収支差額	△ 136,062	△ 2.51	△ 230,847	94,785
次年度繰越支払資金	996,991	18.38	902,206	94,785
合 計	5,425,159	100.00	5,397,387	27,771

消費収支計算書

収入の部

科目/摘要	a.平成24年度 決 算	構成比	b.平成24年度 予 算	a. - b.
学生生徒等納付金	2,855,730	85.09	2,854,075	1,656
手数料	30,469	0.91	30,568	△ 100
寄付金	10,234	0.30	2,500	7,734
補助金	391,217	11.66	401,246	△ 10,029
資産運用収入	7,849	0.23	8,701	△ 852
資産売却差額	673	0.02	673	0
事業収入	△ 13,618	△ 0.41	△ 19,017	5,399
雑収入	71,098	2.12	69,227	1,871
他部からの繰入金	2,366	0.07	3,300	△ 934
帰属収入合計①	3,356,018	100.00	3,351,273	4,746
基本金組入額合計(△)	△ 712,382	△ 21.23	△ 714,348	1,966
消費収入の部合計	2,643,636	78.77	2,636,925	6,711

支出の部

科目/摘要	a.平成24年度 決 算	構成比	b.平成24年度 予 算	a. - b.
人件費	2,011,743	59.94	2,011,353	390
教育研究経費	885,066	26.37	924,189	△ 39,123
管理経費	208,631	6.22	214,782	△ 6,150
借入金等利息	0	0.00	0	0
資産処分差額	127,516	3.80	128,111	△ 596
徴収不能引当金繰入額等	416	0.01	450	△ 34
[予備費]	0	0.00	15,100	△ 15,100
他部への繰出金	85,513	2.55	85,668	△ 155
消費支出合計②	3,318,884	98.89	3,379,653	△ 60,769
帰属収支差額(①-②)	37,134	1.11	△ 28,380	65,514
当年度消費収入超過額	△ 675,248	△ 20.12	△ 742,728	67,480
前年度繰越消費収入超過額	△ 264,489		△ 264,489	0
基本金取崩額	0		0	0
翌年度繰越消費収入超過額	△ 939,737		△ 1,007,217	67,480

収 支 係 数 %	1.11	△ 0.85	1.95
-----------	------	--------	------

収支係数計算式 $\frac{①-②}{①} \times 100$

【表B】貸借対照表

(単位：千円)

平成25年3月31日

資産の部				負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	7,747,381	7,609,507	137,873	固定負債	894,098	940,047	△ 45,948
有形固定資産	5,151,005	4,115,209	1,035,797	長期借入金	0	0	0
土地	916,069	916,069	0	学校債	0	0	0
建物	2,010,240	1,944,254	65,986	退職給与引当金	894,098	940,047	△ 45,948
構築物	56,586	50,375	6,211	未払金	0	0	0
教育研究用機器備品	220,708	222,921	△ 2,214	流動負債	648,910	643,177	5,733
その他の機器備品	19,683	21,641	△ 1,958	短期借入金	0	0	0
図書	817,719	809,948	7,771	学校債	0	0	0
車両	0	0	0	未払金	74,283	69,630	4,653
建設仮勘定	1,110,000	150,000	960,000	前受金	546,672	546,275	397
その他の固定資産	2,596,376	3,494,299	△ 897,923	預り金	27,955	27,273	683
電話加入権	3,626	3,626	0	未払い費用	0	0	0
施設利用権	138	276	△ 138	仮受金	0	0	0
有価証券	1,707	1,707	0	負債の部合計	1,543,009	1,583,224	△ 40,215
長期貸付金	0	0	0	基本金の部			
敷金	10,260	14,260	△ 4,000	科 目	本年度末	前年度末	増 減
施設設備引当特定資産	1,996,482	2,894,620	△ 898,138	第1号基本金	8,071,084	7,358,702	712,382
退職給与引当特定資産	30,588	30,581	6	第2号基本金	0	0	0
記念事業引当特定資産	0	0	0	第3号基本金	0	0	0
教育研究引当特定資産	0	0	0	第4号基本金	284,000	284,000	0
江戸奨学特定資産	0	0	0	基本金の部合計	8,355,084	7,642,702	712,382
第3号基本金引当特定資産	0	0	0	消費収支差額の部			
本部役員退職金特定資産	0	0	0	科 目	本年度末	前年度末	増 減
その他の特定資産	553,575	549,228	4,347	翌年度繰越消費収入超過額	△ 939,737	△ 264,489	△ 675,248
長期性預金	0	0	0	消費収支差額の部合計	△ 939,737	△ 264,489	△ 675,248
流動資産	1,210,975	1,351,930	△ 140,955	科 目	本年度末	前年度末	増 減
現金預金	996,991	1,133,053	△ 136,062	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	8,958,356	8,961,437	△ 3,081
未収入金	197,687	202,739	△ 5,053				
仮払金	97	8	90				
立替金	0	0	0				
短期貸付金	0	347	△ 347				
前払金	16,200	15,783	417				
販売用品	0	0	0				
有価証券	0	0	0				
資産の部合計	8,958,356	8,961,437	△ 3,081				

注 記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

徴収不能引当金の計上基準

未収入金の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

退職給与引当金の計上基準

大学等の教職員については期末要支給額 925,999 千円の 100% を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付額の累積額との繰入れ調整額を加減した金額を計上している。

(2) その他の重要な会計方針

有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券の評価基準及び評価方法は移動平均法に基づく原価法である。

食堂その他教育研究活動に付随する活動に係る収支の表示方法

補助活動に係る収支は純額で表示している。

減価償却について

①減価償却資産の計上基準について

土地、建設仮勘定、図書を除く有形固定資産（耐用年数1年以上で、1個あるいは1組の価額が30千円以上のもの）を減価償却資産として計上している。ただし、学生生徒等が使用する机、椅子等は少額重要資産として、金額の多寡に係らず教育研究用機器備品に計上している。

②減価償却の方法等について

・取得価額300千円以上の償却資産（取得価額300千円未満の楽器を含む）については、残存価額を取得価額の10%とした（車両及び機器備品は零とした）個別償却による定額法で減価償却を行っている。取得価額300千円未満の機器備品については、残存価額を零とした総合償却による定額法で減価償却計算を行っている。

・耐用年数は、「学校法人桐朋学園固定資産減価償却に関する内規」の別表によっており、主な耐用年数は、次の通りである。

建物	鉄筋、鉄骨コンクリート造	50年
構築物	コンクリート造	15年
機器備品		10年

2. 重要な会計方針の変更等 なし
3. 減価償却額の累計額の合計額 2,914,918千円
4. 徴収不能引当金の合計額 0千円
5. 担保に供されている資産の種類及び額
 担保に供されている資産の種類及び額は、次の通りである。
- | | |
|------|-----|
| 土地 | 0千円 |
| 建物 | 0千円 |
| 定期預金 | 0千円 |
6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 0千円
7. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

(1) 有価証券の時価情報

(単位：千円)

種類	当年度（平成25年3月31日）		
	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの (うち満期保有目的の債券)	1,707	4,873	3,166
時価が貸借対照表計上額を超えないもの (うち満期保有目的の債券)	0	0	0
合計	1,707	4,873	3,166

(2) 所有権移転外ファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リースは、次の通りである。

①平成21年4月1日以降に開始したリース取引

リース資産の種類	リース料総額	未経過リース料期末残高
教育研究用機器備品	13,362千円	6,378千円
その他の機器備品	11,350千円	5,402千円
合計	24,712千円	11,779千円

②平成21年3月31日以前に開始したリース取引

リース物件の種類	リース料総額	未経過リース料期末残高
教育研究用機器備品	874千円	187千円
その他の機器備品	874千円	187千円
合計	1,747千円	374千円

(3) 純額で表示した補助活動に係る収支

(単位：千円)

区分	収入	支出	収支差額
夏期講習	22,486	13,795	8,691
冬期講習	5,999	2,847	3,152
芸術教育普及事業	4,267	8,192	△ 3,925
教員免許状更新講習	860	625	235
オープンカレッジ	2,967	92	2,876
出版	2,774	0	2,774
呉羽寮	25,588	53,008	△ 27,421
合計	64,941	78,559	△ 13,618

(4) 関連当事者との取引

関連当事者との取引の内容は、次の通りである。

(単位：千円)

属性	役員、法人等の名称	住所	資本金又は出資金	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高
						役員兼任等	事実上の関係				
監事	富田武夫	-	-	弁護士	-	-	-	法律顧問料(注)	750	-	-

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 顧問料の支払に関する取引条件は、一般的取引条件によっている。

(5) 後発事象

該当事項なし

【表C】 監査報告書

膳 本	
監 査 報 告 書	
平成25年5月21日	
学校法人 桐 朋 学 園 理事会 御中	
学校法人 桐 朋 学 園	
監 事 富 田 武 夫 印	
監 事 一 法 師 信 武 印	
<p>私たちは、私立学校法第37条第3項に基づいて平成24年4月1日から平成25年3月31日までの平成24会計年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告します。</p>	
<p>1. 監査の方法の概要</p> <p>(1) 会計監査について、あずさ監査法人から私立学校振興助成法第14条第3項の規定に基づく監査に関する説明を受け、帳簿ならびに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討した。</p> <p>(2) 業務監査について、理事会・評議員会及びその他の会議に出席して、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。</p>	
<p>2. 監査意見</p> <p>(1) 資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表、附属明細表及び財産目録は、会計帳簿等の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示していると認めます。</p> <p>(2) 事業報告書の内容は真実であると認めます。</p> <p>(3) 当法人の業務に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないと認めます。</p>	
以上	
<p>(註) 上記は、「学校法人桐朋学園」に対する監査意見を記載した報告書です。 評議員会にも同内容の監査報告書が提出されております。</p>	

平成24年度学生会（預り金会計）決算表

収入の部

(単位：円)

区 分	決算額	摘 要
前年度繰越金	1,916,267	
学生会費	4,936,800	@ 3,300 × 1,496 名
銀行利息	323	
桐朋祭プログラム広告掲載費	1,091,500	
その他の雑収入	565,417	桐朋祭飲料販売費他
前期末未収入金収入	19,800	学生会費@ 3,300 × 6 名
期末未収入金 (△)	△ 693,000	学生会費@ 3,300 × 210 名
合計	7,837,107	

支出の部

区 分	決算額	摘 要
桐朋祭野外ステージ設置費	2,441,500	
桐朋祭プログラム、ポスター等作製費	1,575,000	
桐朋祭飲料仕入費	72,288	
桐朋祭演奏・企画補助金	421,450	
桐朋祭関係諸経費	174,356	オーケストラ・ゲスト交通費他
部活動費	0	
コピー機使用料	288,269	
電話・ファックス使用料	32,210	
インターネット使用料	87,610	
備品費	0	
雑費	575,081	食事代、打ち上げ費用他
その他の支出	0	
前期末未払金支払支出	0	
期末未払金 (△)	0	
合計	5,667,764	

次年度繰越金	2,169,343	
--------	-----------	--

人事

桐朋学園大学

新規採用

教授 (2013年4月1日付) 梅比古 津山誠 景山誠治
特任講師 (2012年9月1日付) Stefann Saebel
非常勤講師 (2012年11月7日付) 長木誠司
特任教授 (2013年4月1日付) 江藤純子 武藤賢一郎
特任講師 Alexander Naji
非常勤講師 亮志都子 有石上宏 大島路子 小野由子 加工藤子 黒藤英功 篠高田隆生 中田丸三 中藤井佳司 藤松野尚郎 水宮上川行 最山和口枝

退職

客員教授 (2013年3月31日付) 石井志都子 篠崎功英 黒岩英臣
特任講師 (2012年7月31日付) 山口カーリン・エリーザベト
特任教授 (2013年3月31日付) 海野雄 中丸三千繪
特任講師 H. J. KNAUP
非常勤講師 (2013年1月6日付) 長木誠司
(2013年3月31日付) 阿内春生 雨田のぶ 市岡伸夫 内丸公和 梅落理恵 春合恵子 小藤俊明 小森陽子 佐野彰博 鈴木健 高野木口代 野広松瀬太 森垣桂

「名誉教授」称号授与

(2013年5月14日付) 石井志都子 篠崎功子

桐朋女子高等学校音楽科

新規採用

非常勤講師 (2013年4月1日付) 有吉亮治 石野志都子 今野明 原真由子 大原真由子 加藤由子 黒藤英功 篠高田隆生 高野木口代 中丸三

達子佳郎行子 友里慎峰 村井川上 中藤宮最山

退職

非常勤講師 (2013年3月31日付) 赤雨市内梅海遠小春工小坂佐鷺高古
(2013年3月31日付) 松田岡丸沢野藤澤日藤林田野見木谷 佳の伸和義久盛成俊さ登陽健 惠

桐朋学園大学院大学

退職

非常勤講師 (2013年3月31日付) 花岡千由 百安武富 津置崎田野崎

校務担当者

【音楽部門】 代表理事 梅玉大関沼島 時善滋英雄 比己生二司 古己生二司 誠

【仙川キャンパス】

学長 梅辰大 津巳島野木野上田 副学長 梅辰大 津巳島野木野上田 学部長 津巳島野木野上田 教務部長 津巳島野木野上田 学生部長 津巳島野木野上田 図書館長 津巳島野木野上田 音楽教室部長 津巳島野木野上田 高校部長 津巳島野木野上田

【部会主任・運営委員会委員長】

ピアノ部会 三上桂知子 弦楽器部会 加藤幸雄 管楽器・打楽器・ハープ部会 塚田吉幾仁 声楽部会 大島金子野 作曲理論部会 大橋浩潔 音楽学部会 ソルフェージュ部会 橋田原七 一般教育部会 大米西山 古楽器運営委員会 崎利 指揮運営委員会 嶋毛辰巳 オークストラ運営委員会 辰谷 室内楽運営委員会 辰谷 ディプロマ運営委員会 辰谷 教育科目運営委員会 辰谷

【部会・運営委員会 教務委員】

ピアノ部会 竹内啓直子 弦楽器部会 西田内文 管楽器・打楽器・ハープ部会 崎橋三三 声楽部会 嶋橋ゆり 作曲理論部会 大法大 音楽学部会 ソルフェージュ部会 鈴木しのぶ 一般教育部会 野村のぶ 古楽器運営委員会 吉西雅真直啓 指揮運営委員会 西竹内 室内楽運営委員会 大橋ゆり ディプロマ運営委員会 橋田香 オークストラ運営委員会 田 教育科目運営委員会 関田 英裕 職員会議 玉川 森山

〔責任者〕 副科ピアノ責任者 村上弦一郎 副科声乐責任者 谷茂樹 作曲理論ピアノ責任者 村谷倉雅紀

〔学生・生徒委員〕

学生委員 久保田 巧仁 中長鷹藤正 井瀬羽村門 恒浩弘晶 生徒委員 村田 一平 藤正 村門 憲也

〔音楽教室長〕

札幌教室 加竹上上 藤内野野田原 知啓久 久英 仙台教室 加竹上上 関西谷谷三村村斎神小川新新大大大斎廻廻石三関久大広田 大崎教室 加竹上上 関西谷谷三村村斎神小川新新大大大斎廻廻石三関久大広田 宇都宮教室 加竹上上 関西谷谷三村村斎神小川新新大大大斎廻廻石三関久大広田 水戸教室 加竹上上 関西谷谷三村村斎神小川新新大大大斎廻廻石三関久大広田 市川教室 加竹上上 関西谷谷三村村斎神小川新新大大大斎廻廻石三関久大広田 西千葉教室 加竹上上 関西谷谷三村村斎神小川新新大大大斎廻廻石三関久大広田 仙川別科教室 加竹上上 関西谷谷三村村斎神小川新新大大大斎廻廻石三関久大広田 仙川教室 加竹上上 関西谷谷三村村斎神小川新新大大大斎廻廻石三関久大広田 ひばりが丘教室 加竹上上 関西谷谷三村村斎神小川新新大大大斎廻廻石三関久大広田 お茶の水教室 加竹上上 関西谷谷三村村斎神小川新新大大大斎廻廻石三関久大広田 小金井教室 加竹上上 関西谷谷三村村斎神小川新新大大大斎廻廻石三関久大広田 目黒教室 加竹上上 関西谷谷三村村斎神小川新新大大大斎廻廻石三関久大広田 八王子教室 加竹上上 関西谷谷三村村斎神小川新新大大大斎廻廻石三関久大広田 相模原教室 加竹上上 関西谷谷三村村斎神小川新新大大大斎廻廻石三関久大広田 鎌倉教室 加竹上上 関西谷谷三村村斎神小川新新大大大斎廻廻石三関久大広田 横濱教室 加竹上上 関西谷谷三村村斎神小川新新大大大斎廻廻石三関久大広田 富士野教室 加竹上上 関西谷谷三村村斎神小川新新大大大斎廻廻石三関久大広田 長瀬教室 加竹上上 関西谷谷三村村斎神小川新新大大大斎廻廻石三関久大広田 諏訪本教室 加竹上上 関西谷谷三村村斎神小川新新大大大斎廻廻石三関久大広田 新富山教室 加竹上上 関西谷谷三村村斎神小川新新大大大斎廻廻石三関久大広田 名古屋教室 加竹上上 関西谷谷三村村斎神小川新新大大大斎廻廻石三関久大広田 京都教室 加竹上上 関西谷谷三村村斎神小川新新大大大斎廻廻石三関久大広田 大阪教室 加竹上上 関西谷谷三村村斎神小川新新大大大斎廻廻石三関久大広田 大分教室 加竹上上 関西谷谷三村村斎神小川新新大大大斎廻廻石三関久大広田

〔富山キャンパス〕

* 桐朋学園大学院大学 学長 梅辰大 津巳島野木野上田 研究科長 津原美林 教育学部長 梅藤新若 図書館長 津原美林

* オーケストラ・アカデミア 所長 田原保 副所長 宮原保 教務部長(弦楽器) 田原保 教務部長(管・打楽器) 田原保 運営委員 宮原保 正 井尾木巳田銀

事務局

新規採用

(2013年4月1日付) 専任職員 勝呂伊織 諸星昌史 (2013年4月22日付) 菅光司 (2013年4月1日付) 中村浩子 嘱託職員

退職

専任職員 (2012年11月29日付) 徳江美帆 (2013年3月31日付) 中村浩子 (2013年1月31日付) 河村隼人 (2013年3月31日付) 永長信行

計報・本学教職員

小林 福子 (元教授・ソルフェージュ) 2012年8月9日 享年92歳 徳江 美帆 (専任事務職員) 2012年11月29日 享年41歳 河野 俊達 (元音楽教室講師・ヴィオラ) 2013年1月6日 享年90歳

奨学生・特待生

2012年度 桐朋学園音楽部門 特別奨学生 (学年は2012年度)

高校3年 石田 啓明 (ピアノ)
SD 1年 篠原 悠那 (ヴァイオリン)

2013年度 桐朋学園音楽部門 芸術教育整備・拡充資金及び奨学基金奨学生

大学1年 西原 瑠一 (ピアノ)

2013年度 「チェロアンサンブル・サイトウ」奨学金

高校1年 水野 優也 (チェロ)
SD 1年 笹沼 樹 (チェロ)

2013年度 鍋島元子奨学金

大学1年 北野 なつみ (チェンバロ)

2013年度 桐朋学園音楽部門 仙川キャンパス特待生

高校1年 黒田 哲平 (ピアノ)
高校1年 森田 啓祐 (チェロ)
高校3年 小林 愛実 (ピアノ)
高校3年 山根 一仁 (ヴァイオリン)
高校3年 上野 通明 (チェロ)
大学1年 反田 恭平 (ピアノ)
大学1年 渡邊 聖華 (トランペット)
大学1年 森村 奏子 (パーカッション)
大学3年 指原 和音 (トランペット)
SD 1年 大野 有佳里 (ヴァイオリン)

学生・生徒数 (2013年5月1日現在)

	学級数	定員	在籍数	備考
桐朋学園大学院大学	—	20	21	
桐朋学園大学院大学科目等履修生	—	—	0	
桐朋学園大学	—	600	755	
桐朋学園大学科目等履修生	—	—	189	科目等特別履修生を含まない
桐朋女子高等学校音楽科	6	300	229	
桐朋オーケストラ・アカデミー	—	—	66	
桐朋学園大学音楽学部附属 子供のための音楽教室	—	—	459	仙川教室のみ

2013 (平成25) 年度 桐朋学園音楽部門入学試験結果

区 分	募集人数	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
桐朋学園大学 「一般」	75	164	162	127	101
桐朋学園大学 「指定校推薦1種」	10	12	12	10	10
桐朋学園大学 「指定校推薦2種」	50	69	69	69	67
桐朋学園大学 「一般推薦」	15	16	16	16	16
合 計	150	261	259	222	194
桐朋学園大学 「編入」	—	3	3	2	2
桐朋女子高等学校音楽科 「一般」	90	75	75	73	73
桐朋女子高等学校音楽科 「一般推薦」	10	4	4	4	4
合計	100	79	79	77	77
研究生〔1〕 (内部新規)	—	79	79	56	54
研究生〔2〕 (継続)	—	62	62	62	59
研究生〔3〕 (外部新規)	—	13	12	9	8
合 計	—	154	153	127	121
ソリスト・ディプロマ・コース (新規)	—	7	7	5	5
カレッジ・ディプロマ・コース (新規)	—	28	27	24	22
ソリスト・ディプロマ・コース (継続)	—	8	8	8	7
カレッジ・ディプロマ・コース (継続)	—	26	26	26	25
合 計	—	69	68	63	59
桐朋学園大学「科目等履修生・一般」	—	12	11	11	11
桐朋学園大学「科目等特別履修生」	—	0	0	0	0
桐朋学園大学院大学	10	12	10	10	10
桐朋学園大学院大学 「科目等履修生」	—	0	0	0	0
桐朋オーケストラ・アカデミー	—	77	77	29	28